

I 目指す学校

都民に信頼される教育活動を基盤として、個々の障害の状態等に応じた専門的な教育を行うことにより、生きる力を養い、分かる力を高め、地域社会の一員として主体的に社会参加・自立し、共生社会実現に向けて、生涯にわたり心豊かに生きていく人材を育成する学校

【教育目標】

児童・生徒一人一人の人権を尊重し、個々の障害の特性に応じた教育を推進するとともに、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

- (1) 基本的な生活習慣を養い、健康で豊かな心と身体をつくる。
- (2) 豊かな感性と、自分を表現する力を育てる。
- (3) 自ら考える力、学ぶ意欲を育てる。
- (4) 社会参加・自立に向けて生活する力を養い、働く意欲を育てる。
- (5) 仲間を思いやり、ともに活動する力を育てる。

【肢体不自由教育部門の教育目標】

健康で豊かな心と身体作りを基盤として、専門機関等と連携して学力や意思疎通する力の向上を図り、社会参加・自立に向けて、積極的に取り組む人間を育成する。

【知的障害教育部門の教育目標】

身辺自立等の生活に必要な基本的な力を養うとともに、表現する力や考える力の向上を図り、地域社会に積極的に参加・貢献できる人間を育成する。

II 中期的目標の進捗状況

目 標	進捗状況
1 児童・生徒一人一人の生活や可能性を 広げる多様な学びの充実	(1) 評価の三観点を取り入れた授業計画の再構築（年間指導計画・指導案） (2) 「根拠・基本・安全」を踏まえた系統性のある行事活動の確立 （校外学習・宿泊学習） (3) 豊かな心と健やかな体を育むための芸術・障害スポーツ教育の推進 (4) 教育活動全般において実施する横断的な自立活動・言語活動の充実
2 デジタルとリアル（アナログ）の推進 （学びの充実）	(1) デジタルの活用やICTの利活用等による教育及び環境整備の充実 (2) 子供達の実体験や経験及び紙や教材等とデジタルの活用のバランスを 重視した教育活動の強化
3 自ら学び続ける学校スタッフの育成	(1) 人権や人権擁護等の知識を深め、個々の児童・生徒の実態及び人権に 配慮した教育の徹底 (2) 外部専門員と連携し、教員自身が継続的に新しい知識や技能を学び続け ていく校内研修システムの確立 (3) 近隣の学校及び特別支援学校との学びあいによる継続的な授業改善 (4) 組織的な人材育成や管理職候補者の発掘・育成の推進
4 切れ目のないトータルな支援体制の 構築	(1) 個々に応じた学びと自己の将来とのつながりを見通しながら、必要な力 を育むキャリア教育の確立 (2) 子供達が利用する様々な事業所・関係機関との連携の充実 (3) 生活全般への包括的なサポートやケア及び相談機能の充実と医療等(医 療的ケア含む)の連携の充実

5 地域とつなぐ・つながる特別支援教育の推進	(1) 地域・社会資源を生かした新しい教育活動の確立 (2) センター機能の発揮及び江戸川区の特別支援学級との連携の強化 (3) 特別支援教育の理解推進及び特別支援教育に携わる方のための研修の充実
6 安心・安全・健康を追求する組織体制・整備の確立	(1) 地域と連携し、想定外の自然災害、首都直下地震等に確実に対応できる防災体制・整備の構築。 (2) 学校スタッフの安全配慮義務及び危機管理への意識向上と学校危機管理体制の強化 (3) 個々に応じた児童・生徒の心や身体の健康教育及び食育の推進 (4) 産業医等と連携した学校スタッフの心身の健康管理の推進(助け合える学校づくり)
7 適正かつ効率的な学校経営及び働き方改革の推進	(1) 教育公務員としての高いモラル意識と風通しの良い学校風土の醸成 (2) デジタルを活用し校務支援の効率化を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する (3) 経営企画室と学校スタッフの連携強化及び経営企画室の学校経営参画の推進

Ⅲ 今年度の重点目標

取組について(目標) ※数値目標	自己評価 ○:概ね達成 △:一部達成 ×:次年度改善
(1) デジタルとリアル(アナログ)の推進(学びの充実) ・ 学習/タブレット端末・スイッチ・視線入力等の積極的な活用・実践例の発信(鹿本の学び)・実体験・経験を重視した学習・行事の推進(動物ふれあい・芸術鑑賞) ・ 研修/デジタルサポーターと連携し知識・スキルの習得 ※ デジタル教材を活用した取組の推進≧90%	【自己評価 ○】 今年度は81%達成。保護者肯定的評価27%UP、教職員肯定的評価が激増。ICT研修年間11回実施。ICT支援員の活用が進んでいる。デジタルとリアルを融合した活用を推進し、活用状況について情報発信。デジタル教材の開発、デジタル教育のより一層の充実と体験的な学習の実施。
(2) 切れ目のないトータルな支援体制の構築 ・ 進路/江戸川区・葛飾区との説明会の実施・高等部卒業を意識した進路指導の確立(N) ・ 将来像を見据えた計画的な一般就労及び福祉就労の充実(S)・進路情報の積極的な発信 ※ 卒業後を見据えたキャリア教育・進路の情報発信≧90%	【自己評価 ○】 今年度は86%達成。保護者肯定的評価27%UP。放課後等デイサービス事業所、医療的ケアに係る事業所連絡会の開催。「進路だより」年間4回発行。江戸川区福祉説明会43名、水元小小学園保護者学習会9名、本校保護者学習会40名、PTA進路先見学会50名参加。知的部門中学部職場体験実施、生徒5名参加。
(3) 地域とつなぐ・つながる特別支援教育の推進 ・ 特色化/併置型学園としての特色ある教育活動の充実・発信 ・ 部門交流/併置型学園としての特色ある教育活動の継続・発展(学園内交流教育他) ・ 地域連携/地域共生社会への参画(広報活動、親和性を高める催し、地域支援による関係性強化) ※ 地域との交流を充実≧95%	【自己評価 ○】 今年度は76%達成。ユニバーサル野球交流学習では、3か所の福祉施設と交流。社会資源を活用し、江戸川区総合体育館での体育発表会、三菱地所株式会社と連携「丸の内 Shall We コンサート」、江戸川区スポーツ振興課「パラスポーツ交流会」、「世界陸上リアル教室」「移動動物園」「パラ柔道体験教室」「デフリンピック観戦」「虹輝祭におけるパラスポーツ体験」「自由な美術活動空間」など専門講師による活動の充実。外部専門員活用100%実施。

<p>(4) 安心・安全・健康を追求する組織体制・整備の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定外を想定内にするために防災教育・体制の確立・災害時の円滑かつ機能的な備蓄品の整備及び配備 ・ 福祉避難所の設営・運営も含めた避難の在り方の再構築 <p>※ 地域や学校の実態に応じた防災体制の向上 ≧95%</p>	<p>【自己評価 ○】</p> <p>今年度は保護者95%達成。教職員96%達成、どちらも肯定的評価UP。緊急時や災害時に備えて、継続して備蓄品の管理や非常時の安否確認の徹底等が必要。地域・関係機関と連携した防災訓練に行政・民間・福祉の6団体参加。次年度も関係期間との連携は継続実施。</p>
<p>(5) 適正かつ効率的な学校経営及び働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革／組織的・効率的な業務改善の推進、ライフ・ワーク・バランスの意識向上 ・ 業務改善／ICT機器、デジタル技術を積極的に活用した合理的・効率的な業務遂行 ・ 週案を活用した、業務量の配置人数の適正を検証 <p>※ 勤務外在校時間45時間に向けた教員の意識変容≧90%</p>	<p>【自己評価 ○】</p> <p>今年度は76%達成。肯定的評価が15%UP 次年度に向けて①勤務時間インターバル制度（令和9年4月施行）を見据えた、教職員タイムマネジメント意識付けを継続実施。②システムやオンラインを利用し、会議時間の短縮化。③管理職層、ミドルリーダー層の率先した業務時間改善。</p>

IV 次年度の改善

1 授業づくりの強化

- ・ デジタル教材の開発、デジタル教育のより一層の充実と体験的な学習の実施。

2 卒業後を見据えたキャリア教育・進路指導の充実

- ・ キャリア教育について成長段階ごとに分かりやすい情報発信。

3 ライフ・ワーク・バランスの充実

- ・ 勤務時間インターバル制度（令和9年4月施行）を見据えた、教職員タイムマネジメント意識付けを継続実施。

4 効果的な施設・設備の活用

- ・ 増築棟建設に対応した教育活動の確保。
- ・ 工事車両・スクールバス・放課後等デイサービス送迎車両の円滑な運行。